



SPNI / BirdLife in Israel
イスラエルではヤツガシラを国鳥に選
びました。

バードライフ・ニュースバイト

2009年4月8日付

イスラエル ヤツガシラを国鳥に選定： ヤツガシラがシモン・ペレス首相からイスラエルの国鳥の称号を受けました。このカラフルな鳥の新しい記念硬貨や切手が発行される予定です。イスラエルの国鳥を選ぶという計画はイスラエル鳥類学センター、イスラエル自然保護協会（イスラエルのバードライフ・パートナー）、国際渡り鳥研究センターによりイスラエル建国60年を祝して2年前に始まりました。国鳥を選ぶというイベントは自然保護、野鳥とその生息地保護への一般の人たちの関心を高める助けになりました。

目に見えないコネクション： ‘目に見えないコネクション’ というのは東アジアーオーストラリア・フライウェイ（渡り鳥の飛行ルート）に沿って繁殖地から飛翔する渡り性シギ・チドリ類による3ヶ国語（朝鮮語、中国語、英語）の旅の説明書です。このフライウェイは地球上でも最も開発が進み人口の多いフライウェイです。国際湿地保全連合により発行されたこの資料は、渡り性シギ・チドリ類の毎年繰り返される南北間の渡りにとって極めて重要な場所として、特に中国と朝鮮半島の間にある黄海の重要性の概要を記述しています。

タナ川デルタのビデオが出来ました： タナ川デルタはケニアの最長で最重要な淡水湿地環境3ヶ所の一つです。ここは牛飼いやその他の人々が依拠する重要な地域社会です。しかしタナ川デルタは砂糖およびバイオ燃料計画が提案されて脅威を受けています。ご紹介するビデオは「タナの砂糖は本当に甘いのか？」と題された14回分のビデオの第1回目で、ここのデルタが直面している問題点を示すために作られたものです。（注： ビデオをご覧になるには、バードライフ本部のホームページの **BirdLife News-Bytes** を開いてください）

RSPBによる第30回庭の鳥ウォッチングへの参加者が新記録50万人を達成： 王立鳥類保護協会(英国のパートナー)主催による恒例行事庭の鳥バードウォッチング大会への参加者が今年は552,000人を超え、850万羽以上の野鳥を観察しました。英国全土で279,000ヶ所の庭と公園で1月24日ー25日の週末に行なわれたこのイベントで合計73種が記録されました。過去30年の歴史の中で、エナガが今回初めてベストテンに入りました。

ブラジルのIBAデータブックが刊行： ブラジル北部アマパ州にあるオレンジ岬国立公園は幅10kmの海洋区域に加えて、長さ200kmの海岸帯から成り立っています。この地域の生物多様性の概要を周知させる目的で、国立野鳥保護研究センター(CEMAVE)が‘カンポスのガイドーオレンジ岬国立公園の鳥’を発行しました。これはこの国立公園について書かれた初めての本で、地元の人たちの関心を高めるための大切な手段になるでしょう。オレンジ岬国立公園はIBA(鳥を指標とする重要自然環境)と考えられており、‘ブラジルの重要保全地域第2巻：アマゾン地域・セラード・パンタナル’が今年バードライフとセイブ・ブラジル(ブラジルのパートナー)の共同で発行される予定です。

オオハシヨシキリはアフガニスタンやカザフスタンでは(それほど)新しい鳥ではない： 最近の‘鳥類学紀要’に掲載されたSyensson他による論文ではアフガニスタンとカザフスタンの博物館のコレクションから10体の標本が新たに発見されたことにより両国のバードリストに加えることが出来ます。カザフスタンの標本1体は同国の東南部で1900年8月18日にN. Zarudnyにより採集され、アフガニスタンの標本4体は同国北東部で1937年7月にW. N. Koelzにより採集されたものです。最近までオオハシヨシキリはインドのヒマーチャルプラデシュ州Sutlej溪谷で1867年11月に採集された1体の標本だけで知られていた種です。ところが、2006年3月にタイ南西部のペッチャブリ県Laem Phak Biaで1羽が罾に掛かって139年ぶりの再発見として大ニュースになりました(注：詳細はバードライフ本部のホームページをご覧ください。また、再発見のニュースはバードライフ・アジアのニュースレターVol. 6 - No. 3：2007年7月号の7ページにも掲載されています)。

→詳細はこちら(本部HP)

http://www.birdlife.org/news/news/2009/04/news_byte_7.html